

平成24年度 あいち海上の森保全活用事業の取組状況

「あいち海上の森条例」（平成18年4月1日施行）に基づき、海上の森を愛知万博の理念や成果を継承する「愛知万博記念の森」と位置付け、将来にわたり保全活用するとともに、県民参加のもとに森林や里山に関する学習と交流の拠点として、里山保全活動、森林環境教育を始め、情報発信や人材育成などの幅広い取り組みを展開しました。

■主な取組

1 愛知万博記念の森としての保全のための事業

2 森林や里山に関する学習と交流のための事業

3 愛知万博継承事業

■取組の状況

○ 愛知万博記念の森としての保全のための事業

事業項目		取組状況
里山保全事業	耕地管理	農地（体験学習プログラム「里の教室」で使用）の適切な維持管理のため、委託業務を実施 0.696ha
	水路浚渫等整備	農地への用水確保のため、埋設水路の修復や水路の落ち葉掃除などを実施
森林育成事業	人工林整備	人工林の健全な育成のため、過密林分の間伐等を実施 5.99ha
森林の維持管理事業	林道・作業道の補修等管理	森林の適切な管理や活動のために利用する林道及び作業道の維持管理工事を実施
	歩道等の整備・補修	森林の適切な管理や活動のために利用する歩道の草刈りなどの維持管理工事を実施
	巡視の励行	散策者の安全確保等のため、落枝や歩道等の巡視
境界整備費	境界管理のため、刈り払い等を実施	
遊歩施設整備	遊歩施設の適正な管理を図るため、防火用水の点検補充などを実施	
事業用地維持費	事業用地の適正な管理を図るため、カシノナガキクイムシ被害木等の危険木伐採、草刈、センター内の除草等を実施	
自然環境調査事業	湿地調査	湿地の適切な維持・の保全のため、植生及び環境等を調査し、自然的変化、人的荒廃状況等を把握
	希少動物の生息状況調査	ムササビ及びホトケドジョウが生育する里山環境を維持保全するための基礎とするため、生息状況を調査
	猛禽類の生息状況調査	里山環境を維持保全するための基礎とするため、オオタカ・ハチクマ等の生息状況を調査

○ 森林や里山に関する学習と交流のための事業

事業項目		取組状況			
		行事名等	定員 (延べ)	参加数 (延べ)	参加率 (%)
体験事業	体験学習プログラム	森の教室 4回	140	105	75
		里の教室 9回セット	450	474	105
	調査学習会	海上の森の植物	30	28	93
		海上の森の野鳥	30	40	133
		海上の森の夏のキノコ	50	44	88
		海上の森の水生生物	30	49	163
		海上の森の昆虫	50	37	74
		海上の森の秋のキノコ	50	47	94
		計	240	245	102
	里山遊歩施設利用プログラム	森の楽校(遊歩施設) 4回	200	466	233
計		1,030	1,290	125	
自然環境・里山保全等の普及啓発事業	企業との連携	現在活動中の企業6社 ナゴヤキャッスル、豊田自動織機、トーマツ、小林クリエイト、伊藤園、カルビー			
	全国の里山保全活動や施設との連携	あいち自然環境団体・施設連絡協議会(あいち自然ネット)との情報交換・連携イベント			
	学習プログラムの作成・提供	学習教材「自然観察ガイドブック」を有償頒布			
	大学・小中学校・官庁・市民団体等との連携	<講義・実習> 南山大学、愛知工業大学、首都大学東京、国連地域開発センター、韓国山林庁、静岡ガイドボランティア、掛川まちづくり協議会 <団体、環境教育等> 幡山東小学校(2回)、道泉小学校、モリコロ自然探検隊、長久手南小学校、リニモツアーズ、幡山中学校			
	自然環境情報等の収集整理・情報発信	・海上の森の自然環境情報の収集・展示 ・データベースの更新 書籍の購入 ・「ムーアカデミー通信」の発行 4回 ・「海上の森調査報告書第2号」の発刊			



里の教室(田植え)



調査学習会
(海上の森の水生生物)



森の楽校

○ 愛知万博継承事業

事業	項目	内容
人と自然の共生 国際フォーラム	テーマ	「持続可能な社会を目指し理念から行動へ、今変わる時」 ～今を、明日を、語る・描く・奏でる～
	実施日	平成 24 年 10 月 13 日（フォーラム本体）
	場所	地球市民交流センター（愛・地球博記念公園内）
	プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・アクション・プレゼンテーション ・特別講演 ・エシカル ファッションショー ・パネルディスカッション ・ポスターセッション、 ・工作等体験 ・フォーラム宣言
	講演者等	川井秀一氏 窪田栄一氏 稲村哲也氏 笹谷秀光氏 原田さとみ氏 吉田大氏 マリ クリスティーヌ氏
	運営	※人と自然の共生国際フォーラム実行委員会を組織して実施 委員会 3 回開催、委員長：小川副知事
	参加者数	600名
あいち 海上の森大学	実施期間	平成 24 年 7 月～平成 24 年 12 月 7/8 開校式、12/1 閉校式
	講座	森林再生コース、市民活動コース、国際交流コース
	場所	あいち海上の森センター研修室・海上の森
	助成	国際ソロプチミスト瀬戸から国際交流コース留学生へ奨学金の 支給（上限5万円/人）
	運営	学長 マリ クリスティーヌ氏 副学長 稲垣前副知事 ※ 大学運営委員会で内容検討 3 回開催
	終了者数/ 受講者数	森林再生:9 人/16 人 市民活動:10 人/15 人 国際交流:5 人/5 人 計 24人/36人



人と自然の共生国際フォーラム
（アクション・プレゼンテーション）



あいち海上の森大学
（閉校式）

○ センターの適正な運営管理と、センターの取組全般にわたる意見を聞く「海上の森運営協議会」の開催

事業項目	取組状況
センターの管理・運営	施設修繕、清掃・警備、施設管理・点検、機器リース、廃棄物処理、企画調整、樹木管理など ○施設利用者数（平成25年1月末現在） あいち海上の森センター 16,255名（累計 153,574名） 有料施設利用件数 工作室 7件 研修室 8件 ○スタンプラリーの実施（H19.10.20から参加者1,178人）
海上の森運営協議会	2回（24年8月31日・25年3月22日）開催 ○平成24年度海上の森保全活用事業の取組 ○平成25年度海上の森保全活用事業の事業計画 ○海上の森保全活用計画の今後の進め方 等

○ 幼児向け森林体験活動を推進するため、ムーアカデミーセミナーで養成した指導者と連携した取組や森の楽校、PR等によりフィールドの利用促進

事業項目	取組状況
幼児森林体験フィールドの利用	オープン時の公開講座(20.3.20)から25年1月末まで 延べ56回 4,661人



○ その他の取組

協働連携：県民参加組織「NPO法人海上の森の会」との協働連携
サポーター制度の開始

- ・個人として海上の森整備に貢献したい方々への参加の場を提供
- ・25年2月現在33名が登録

他機関・団体等の調査

- ・海上の森の会自然環境調査Gによる生物季節調査
～展示室・情報ライブラリーでの公開、23年度分までをCD化し希望者に提供可能
- ・海上の森モニタリングサイト1000調査
～日本自然保護協会指導の植物・鳥等の市民調査(センター担当:哺乳類)
- ・海上の森をフィールドに大学等が行う研究への協力

間伐材の活用

- ・森林環境保全直接支援制度を活用し、材の搬出を実施